

## いのち輝いて! みんながってみんないい! 第2回ハートフル♪フェスティバル

7月21日、白石しらゆり会手話サークル(田畑啓輔会長)主催の「第2回ハートフル♪フェスティバル」が中央公民館で開催されました。この催しは、「共にはぐくみ生きる」をテーマに、手話の普及と、さまざまな障害を持つ方の理解・社会参加を図る活動を続けてきた同会が、感動と共感の輪を広げようと開催したものです。

障害児教育に身をささげた女性を描いた映画「筆子・その愛〜天使のピアノ〜」が上映されたほか、監督の山田火砂子さんの講演会も実施。450人を超える来場者で埋め尽くされた会場が、感動の渦に包まれていました。



▲オープニングから手話ソングやダンスなどで大盛況

## 思い出のたくさん詰まった学舎に“ありがとう” 南中学校木造校舎お別れ式



▲さまざまな思いを胸に、校歌を斉唱する生徒たち

新校舎の建設が進む南中学校。7月18日、同校の木造校舎でお別れ式が行われました。式では、同校の高橋郁夫校長が「この校舎は、これまで3,800人を超える先輩たちの中学校生活を見守り続けてきました。皆さんが今立っている、光るほどに磨かれた廊下は、南中生の伝統が守り続けてきたものです。こういった伝統の大切さを受け継ぎながら、新校舎で新しい学校生活を送ってください」とあいさつ。最後に、式に出席した全校生徒や関係者など、約100人全員で校歌を斉唱し、52年の歴史を持つ、温かい木造校舎に別れを告げました。

## 走りだせ! 未知なる可能性を求めて 仙台89ERSバスケットボールクリニック



▲バスからシュートに至る練習を繰り返す生徒たち

7月21日、ホワイトキューブで男子プロバスケットボールbjリーグ、仙台89ERSの選手を講師に招いた教室が開催され、仙南地域の高校生90名ほどが参加しました。この教室は、スポーツを通して青少年の健全育成に役立つと、(社)白石青年会議所が主催したものです。

パスやシュート、ドリブルなど、1日がかりの密度の濃い練習内容。真剣な表情でプロのアドバイスを傾ける高校生たちを見つめながら、同青年会議所の奥山謙一理事長は「今日学んだことを、今後のレベルアップに生かしてほしい」と話していました。

## 誘惑は、常に身近なところに潜んでいます 東中学校で薬物乱用防止・非行防止教室

7月17日、東中学校で薬物乱用防止・非行防止教室が行われました。この教室は、夏休みを前に生徒たちがたばこや危険薬物に手を出すことのないようにと開催されたものです。教室では、白石警察署を含む、仙南の4警察署の少年警察補導員の皆さんが、演劇形式で身近に潜む犯罪の危険性を生徒たちに訴えました。

たばこや万引、携帯電話、覚せい剤などの危険薬物…。自分たちが日常の中でいかに危険と隣り合わせの生活を送っているのかを考えながら、生徒たちは夏休みを前に、あらためて気を引き締めていました。



▲迫真の演技で犯罪の恐ろしさを伝える少年警察補導員の皆さん

## 子どもたちが安全に遊べる公園に! 子どもの施設の安全一斉総点検

7月19日、公園に設置されているすべり台やブランコなどの施設を自主的に一斉点検する「子どもの施設の安全一斉総点検」を実施しました。この一斉総点検は、内閣府が定めた、4つの国民運動の1つである「子どもの施設の安全全国一斉総点検」に合わせて実施したもので、今年の3月にも実施しています。田町のつくし公園で開催した開会行事には、母親クラブをはじめ(社)青年会議所や子ども会育成会連合会などから約100名が参加。市内75カ所の公園のうち、遊具が設置されている、27カ所の公園の遊具を8つの班に分かれて点検を行いました。



▲つくし公園のすべり台の点検を行う参加者たち

## 市民一人ひとりができる身近なところから! 白石市青少年健全育成推進大会



▲スライドを使って分かりやすく説明

7月12日、中央公民館で「青少年健全育成推進大会」を開催し、PTAや防犯協会などの関係団体から約300名の皆さんが出席しました。

今年の大会では、急増している携帯電話を使った青少年犯罪を防止するため、NTTドコモ東北「ケータイ安全教室」を開催。子どもたちの携帯電話使用状況のほか、携帯電話でのトラブルの事例や防止方法などを説明しました。最後に、市民一人ひとりができる身近なところから、子どもたちを守ろうという大会宣言を採択し、出席者全員でより一層の推進を確認しました。

## 実体験を通して福祉の重みを知る 夏・福祉体験ワークキャンプ



▲盲導犬が果たしている役割について学ぶ生徒たち

8月5日、市内の福祉施設などで「夏・福祉体験ワークキャンプ」が開催されました。この催しは、福祉現場でのボランティア活動体験を通して、市内の中高生に社会福祉への関心を高めてもらおうと、白石市社会福祉協議会が主催したものです。

ワークキャンプには、白石中学校や白石女子高校などから12名の生徒が参加。障害者とのふれあい体験や、認知症予防のためのレクリエーション体験、盲導犬に関する学習体験などを通して、ボランティア活動の大変さと大切さなどへの理解を深めていました。

## 無事故で楽しいお盆休みに! 交通安全「ひと休み運動」

8月8日、市内亙理町の旧国道4号沿いで、白石地区交通安全協会白石支部と白石市交通安全母の会などの会員約50名が、冷たい飲み物やチラシなどをドライバーに配り、交通安全を呼び掛けました。この街頭キャンペーンは、暑さで体力の消耗が激しい夏の季節は、休みながら無理をしない運転を心掛けてほしいと、夏の交通事故防止運動の一環として、毎年行われています。

冷たい飲み物やチラシを受け取ったドライバーは、誰もがほっとした表情となり、「安全運転をお願いします」の呼び掛けに笑顔でうなずいていました。



▲飲み物やチラシを配り、交通安全を呼び掛ける会員